



2025 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 株式会社ハウス オブ ローゼ
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 川口 善弘
(コード番号 7506 東証スタンダード)
問 い 合 せ 先 取締役経営企画室長 小野 敏健
TEL : 03-5114-5814 (直通)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2028 年 3 月期を最終年度とする新たな 3 ヶ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要についてお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画策定の主旨

今回策定する中期経営計画では、「2030 年のありたい姿」の具現化に向け、創業以来当社の強みの源泉としてきた「素肌みがき」に改めてフォーカスすることで、化粧品市場における競争環境の中で当社の存在意義及び提供価値を明確にし、顧客との関係性深化を通じて、企業価値の創出に取り組んでまいります。あわせて、持続的な成長を図るために、経営資源を成長事業・新規事業に効果的に配分することに加え、人的資本の活用や I T 化の推進を通じた経営基盤強化に注力してまいります。

2. 中期経営計画の概要

(1) 対象期間

2026 年 3 月期から 2028 年 3 月期までの 3 ヶ年

(2) 当社が目指す姿

当社は、2024 年 3 月期に「2030 年のありたい姿」として「多様化する社会において、お客さまとの共感や従業員の幸せを大切にし、“ふれあい”を通じて誰からも永く信頼され、愛され続ける会社になる」を掲げ、その実現に向けたマイルストーンとして中期経営計画を策定いたしました。

(3) 中期経営ビジョン

中期経営計画策定にあたり、経営課題への対応や当社を取り巻く環境変化への適応、経営基盤の強化を主眼に置き、中期経営ビジョンとして次の 3 点を掲げております。

- 当社の強みの源泉である「素肌みがき」に改めてフォーカスし、顧客関係性の深化を通じて「ハウス オブ ローゼ」ブランドの再構築を図る。
- 基幹事業である直営店舗の構造改革と、成長事業・新規事業領域への投資を並行させ、事業ポートフォリオ変革と収益力の強化を図る。
- 次の時代を担う人材育成を推進するとともに、デジタル化を通じた営業効率・経営効率の最適化を実現する。

3. 中期経営計画の基本方針、重要戦略

【中期経営計画 基本方針】

1. 化粧品事業の再構築 及び ブランド価値向上
2. デジタル化推進による経営効率・顧客サービス向上
3. 事業収益力の強化
4. 人的資本の最大活用

【中期経営計画 重要戦略】

①「素肌みがき」を通じたブランド価値向上

- ・ ハウス オブ ローゼの角質ケアの強み（商品力・接客力）に脚光を当て、健全かつ長期的な売上拡大に繋げる取り組みの全社的推進（商品開発・人材教育・店頭販売・広告宣伝等）
- ・ 「ハウス オブ ローゼのファン」を増やすための販売促進活動強化（スキンケア商品の認知度向上施策、店頭体験型のプロモーション、スキンケア基幹商品のリニューアル等）

② 組織力強化と人事制度改革

- ・ 多様性のある人的資本の活用（女性管理職比率の向上等）
- ・ 働きやすい職場づくり、働き甲斐のある職場づくりの推進
- ・ 次世代の経営幹部・管理職候補の育成に向けた教育拡充、人事制度改革

③ 情報システムの再構築と運用強化

- ・ I T活用を通じた顧客の維持・育成（デジタル会員の量的拡大と関係性強化、施策精度の向上）
- ・ 店頭業務及び後方支援業務のデジタル化推進による業務効率向上、人的生産性向上

④ 在庫管理の強化と在庫金額の適正化

- ・ 販売予測や消化率分析の精緻化を通じた効率的な在庫調整
- ・ 売上分析に基づくSKU数最適化、発注単位見直しや店舗在庫適正化を通じた回転率向上

⑤ 情報発信の強化

- ・ コーポレートサイトの情報充実化（商品づくりや原材料へのこだわり、角質ケア商品に関する当社商品の特長、サステナビリティへの取り組み等）を通じた新規顧客獲得

⑥ 商品開発力、サステナビリティの取組み強化

- ・ 当社の商品づくりに関する理念の明確化を通じたブランドイメージ向上
- ・ 天然成分やアップサイクル原料の使用拡大、環境配慮資材の積極的な活用

⑦ 新規事業の取組みと推進

- ・ ブランド譲受を通じた卸売事業・EC事業における新たな基幹商品の導入及び育成
- ・ 他企業とのアライアンスを通じた卸売事業における新たな販売ルートの開拓
- ・ EC事業における出店先モールの拡大

4. 中期経営計画の数値目標

（単位：百万円、単位未満切捨）

	2025年3月期 （実績）	2026年3月期 （業績予想）	2028年3月期 （目標）
売上高	11,594	12,120	13,200
営業利益	122	200	420
経常利益	148	205	420
当期純利益	79	46	190
ROE	1.4%	0.8%	3.5%

5. 株主還元等

(1) 資本効率の向上

財務健全性の確保を前提に、事業そのものの収益力向上と持続的な成長のための投資、安定的な株主還元を通じた株主価値向上に努め、2028年3期のROEについては目標である3.5%から更なる向上を目指します。

(2) 株主還元

当社は、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、配当性向を当期純利益の30%以上を目安としつつ業績及び財務状況等を総合的に勘案し、かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。2026年3月期の1株あたり年間配当金につきましては、25円を見込んでおります。

中期経営計画の概要につきましては、5月16日(金)開催の2025年3月期決算説明会(アナリスト向け)にて説明させていただくとともに、当社ホームページに資料を掲出いたします。

※「2025年3月期決算説明資料」については、当社ホームページをご参照願います。

(URL : <https://www.houseofrose.jp/ir/news/>)

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料策定時において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、本資料において将来の業績を保証するものではありません。

以上